

## 冬本番、風邪の季節

12月に入って寒さが厳しくなり、冬本番を迎えました。これからは風邪の季節でもあり、体調を崩す生徒も多くなります。ここ数日の生徒の出欠状況を見ていると、徐々にその数が増えてきています。合わせて、今後、コロナとインフルエンザの流行も予想されています。よく欠席連絡時に、兄弟の出欠についてもお問い合わせがありますので、あらためて体調不良時の対応について確認したいと思います。

- 体調不良で欠席する場合は必ず学校に連絡を入れ、発熱の場合は、通院して診断結果をご連絡ください。診断結果が出るまでは、兄弟も自宅待機をさせてください。本人、兄弟共に『出席停止』になります。
- コロナやインフルエンザの診断が出た場合、指定の期間『出席停止』となります。(コロナの場合、濃厚接触者であれば兄弟も『出席停止』となります。)
- 診断が風邪等である場合、翌日から体調が回復するまで『病欠』となります。兄弟は翌日から登校させてください。家庭の判断で引き続き欠席させる場合は『事故欠』となります。



## 部員が足りない！

部活動のメインの大会といえば中総体。その前哨戦である各種新人大会が秋から冬にかけて実施されています。今週末にはバスケット部とバレー部の大会が開催されます。寒い冬だからこそ、『青春の炎』を燃やし、素晴らしい結果を出してくれば・・・と期待しています。

さて、話は変わりますが、先日、鋏取先生にバレー大会のことを尋ねていたときのこと。「西有家中と深江中が合同チームです。布津はメンバーが足りないようです。人数が足りているのは有家中と南有馬中だけです。」これを聞いて、本当に驚きました。以前、私が部活動を担当していた頃(中村奈美先生が中学生だった頃)は、男女ソフトテニス部合わせて80名以上おり、僅か3コートで練習していました。それが今では・・・本当に少子化の影響が出ています。バレーに限らず、野球部もソフトテニス部もサッカー部も単独校での出場ができない学校が多く、サッカー部においては、南島原市でクラブチームが立ち上がりました。先生方の働き方改革を含め、今後、部活動や中体連のあり方について検討していく必要があります。

これらについては、近年中に市でも「部活動のあり方検討委員会」が立ち上げられ、まずは『休日の部活動の地域移行』が行われる予定だとのこと。ここ数年で部活動や中体連のあり方も大きく変わる可能性があります。今後の動きについては、分かり次第、随時お知らせいたしますが、まずは、今の体制でしっかり『青春の炎』を燃やし続け、結果につなげてほしいと思います。

